令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
校内名称	現代社会			ユニット数	1.5	必選別	必
使用教科書	改訂版　高等学校　現代社会（数研出版）						
副教材等	新版最新現代社会資料集2020（第一学習社）　高等学校現代社会整理ノート（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学3年では公民分野を学習し、日本国憲法や政治制度、経済のしくみや社会のさまざまな問題について学習し、知識や関心を養ってきたことでしょう。高校1年の「現代社会」では、これまでに学習してきた内容を、もう少し深く幅広く学習することになります。また、新たに倫理的な分野の学習も入ってきます。これから学習する公民科の政治・経済の分野と倫理的な分野は、いずれもより良い社会の実現をめざし、私たちが幸せに生活できることを目標に学習する科目です。

したがって、重要なことは、自分自身で考えてみること、そのためにさまざまな現実の社会事象や考え方に触れてみること。近い将来の大学受験に備えることも重要ですが、そのためだけに「現代社会」を学ぶものでありません。整理ノートの空欄をうめて語句を暗記することが「現代社会」の学習ではありません。現実社会で起こっているさまざま事象に目を向けて、興味・関心をもつようにしましょう。

その結果として、受験のための知識も身につくはずです（これは公民科に限ったことではありませんが）。そのためには、まずは毎日、新聞を読み、テレビのニュースを見て、インターネットで検索しましょう。そして本を読みましょう。そのうえで「自分の理性」で考えてみましょう。

2　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方・生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本問題と人間に関わることがらに対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会において主体的に生きる力を養おうとする。	現代社会の基本問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について幅広い視野に立って多面的･多角的に考察し、学習で得た知識を基本として用い、さまざまな立場や考え方を踏まえながら、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会におけるさまざまな問題や人間に関わる事柄に関する資料を、マスメディアやインターネットなどを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、正しい分析方法を用いて効果的に活用している。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や学び方を理解し、その用語や内容についての正しい知識を身につけている。
評価方法	ワークシート （ワークシートにはプリント･ノートの評価も含みます(以下同)） レポート 授業の参加態度	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点９５％程度、平常点５％程度です。

4　学習の活動

期間	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期中間考査まで	私たちの生きる社会	地球環境問題 ・生態系の危機と地球環境問題 ・地球環境問題への取り組み	○		○		a.　地球環境問題など、現代社会における諸課題に対し興味関心をもつ。 c.　諸課題の現状がどのようになっているのか、最新の情報から把握する。	ワークシート 課題レポート 定期考査
		資源・エネルギー問題 ・持続可能な社会へ ・循環型社会の形成		○	○	○	b.　原子力発電の是非について、多面的に考えながら一定の判断をする。 c.　最新の情報を集め、資源エネルギー問題の現状を客観的に把握する。 d.　因果関係など幅広い知識を身につける	
		生命をめぐる問題 ・先端医療技術と生命倫理 ・私たちの生命と科学技術		○	○		b.　生命倫理について、出生前診断などさまざまな問題について考察する。 c.　医療技術や先端医療の現状と課題について、最新の情報に接する。	
		情報をめぐる問題 ・高度情報化社会の進展と課題 ・知的財産権と個人情報の保護		○	○		b.　スマホの使用など、高度情報化社会の問題点を身近な事例から考える。 c.　課題探究の方法について、情報機器の技能を身につけることをめざす。	
前期期末考査まで	青年期と自己の形成	青年としてのあり方・生き方 ・青年期の特徴と意義 ・青年期の課題とパーソナリティ ・現代社会における青年の生き方	○		○		a.　青年期の課題について自らの問題として意識させ、興味・関心を持つ。 c.　防衛機制の知識から、自らの防衛機制の技能を身につける。	ワークシート 課題レポート 定期考査
		先人の生き方・考え方 ・生きることと考えること ・信じることと愛すること ・科学的精神と人間の尊厳 ・民主主義の形成とゆくえ ・他者とともに生きる	○			○	a.　あまりなじみのない倫理的な分野に対して興味・関心をもつ。 d.　各思想家の考え方になどについて、２年後期から学習する倫理分野に繋がるように知識を整理する。	
		日本人としての自覚 ・日本の伝統思想と仏教の受容 ・外来思想の受容と現代日本 ・国際社会に生きる日本人	○	○		○	a.　倫理的な内容を他の科目とも連携させながら、興味・関心を高める。 b.　国際社会における生き方を考える。 d.　倫理的な知識を、整理・確認する。	
後期中間考査まで	現代の民主政治	民主政治の基本原理 ・民主政治における個人と国家 ・民主政治の原理とその展開 ・民主政治の具体化と法の支配 ・世界の主な政治体制	○			○	a.　民主政治について、当然のこととは考えずにその形成過程に興味を持ち、さらに関心を高める。 d.　民主政治の進展を歴史的知識を確認	ワークシート 定期考査
		日本国憲法と基本的人権 ・明治憲法と日本国憲法 ・平等権と自由権 ・社会権・参政権・請求権 ・新しい人権・人権の国際的広がり ・平和主義と安全保障 ・日米安保体制と近年の防衛問題		○	○	○	b.　日本国憲法の改正について考え、その是非について各自で判断する。 c.　明治憲法と日本国憲法を比較する。 d.　憲法と平和主義を歴史的に確認	
		政治参加と民主政治の課題 ・政党の役割 ・選挙と選挙制度 ・世論の形成と現代民主政治の課題	○	○		○	a.　近い将来の主権者として日本の政治に興味を持ち、政治参加を考える。 b.　各政党の政策を比較・検討する。 d.　戦後日本政治を歴史的に確認。	
後期期末考査まで	現代の経済社会と経済活動のあり方	経済のしくみと市場機構 ・経済生活のしくみ ・企業の働きとその役割 ・市場経済のしくみ ・市場経済の限界	○	○		○	a.　身近な日常の日常生活における経済事象に対して、興味・関心を持つ。 b.　現代企業のあり方について考える。 d.　資本主義の発展過程を理解する。	ワークシート 定期考査
		財政と金融 ・国民所得と経済成長 ・政府と財政政策 ・金融の役割 ・日本銀行と金融政策		○	○	○	b.　諸市場の動向について関心をもつ。 c.　需要供給曲線を活用する技能を身に付ける。 d.　労働問題や社会保障について現状を理解し、その課題について考える。	
		日本経済の発展と変化 ・廃墟から高度成長へ ・バブル景気から長期不況へ ・中小企業とその役割 ・日本の農業と食料自給	○	○		○	a.　戦後日本経済の歩みから、現在の日本経済の動向について興味を持つ。 b.　今後の日本経済のあり方を考える。 d.　戦後日本経済について歴史的に確認する	ワークシート 定期考査
		豊かな生活と福祉の実現 ・公害防止と環境保全 ・消費者問題と消費者主権 ・労働者の権利 ・現代の労働問題 ・社会保障と福祉社会	○		○	○	a.　公害・消費者・労働・社会保障など経済的な問題について、身近な事例から、興味・関心を持つ。 c.　現状把握のため最新の統計を見る。 d.　これらの問題の歴史的な背景を確認	

※　表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。